

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 武雄市立武雄北中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒849-2342

佐賀県武雄市武内町大字真手野 25956 番地 3

E-mail takeokita-j@mail.saga-ed.jp

Website http://cms.saga-ed.jp/hp/takeokita-j

生徒数 男子 40 名 女子 48 名 合計 88 名

生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「学ぶ」「耐える」「感動する」を学校教育目標としている。その具現化を図る上で、

- (1) 夢をもち、夢に向かって前進する生徒
- (2) 自ら考え、仲間と共に学び合い、確かな学力を身に付ける生徒
- (3) たくましい気力と体力をもち、粘り強く困難に挑戦する生徒
- (4) 郷土を愛し誇りに思う生徒

の育成を目指し、様々な活動に取り組んでいる。各教科のみならず、教科横断的な学習である総合的な学習の時間や、学校行事、体験活動の充実を図り、生徒の「学ぶ」「耐える」「感動する」を支援していくことに、全職員で取り組んでいる。

具体的には、本校独自の「夢プロジェクト」及び各学年の「夢タイム」（総合的な学習の時間）を、E S D 推進教育の柱として活動した。

① 夢プロジェクト

ア 「ふるさと夢アーカイブス ～シーズン2～」の取り組み

昨年度に引き続き、今年度も夢プロジェクトの大きな活動の一つとして行った。校舎改築、武雄北中創立 50 周年を前にして、これまでの中学校の歴史を記録し、現代の中学生の夢だけではなく、地域の方が中学生の頃もっていた夢を集め、世代を超えた交流を図ることを目的として行った。今年度は、

合計で約70点の写真や映像などの提供があった。

収集した写真や話を時代ごとに区分し、中学校の歴史として編纂したパネルを作成した。それらは、文化発表会「夢きた祭り」で展示会を開催し、ご来場いただいた保護者や地域の方々に観覧していただき、好評を博した。今後も写真の収集などを継続して行い、地域の行事等に出向き、より多くの方に見ていただける機会を設けるよう検討している。

イ 夢プロジェクトTシャツ、バッグの販売

昨年度までのTシャツに加え、今年度は生徒のアイデアをもとに、夢プロジェクトのバッグを行った。地域で行われる町民運動会や文化発表会などで販売をし、多くの地域の方や保護者の方の協力があった。制作にかかった費用を差し引いた売上金を、東北復興支援義援金として募金した。

ウ 地域とのつながりを生かした被災地支援、貢献活動の取り組み

被災地支援の一つとして「ひまわりプロジェクト」に取り組んだ。本校で育てたひまわりから採取した種を、文化発表会で来場された保護者や地域の方々に配付し、被災地支援の輪を地域にも広めるように努めた。

また、夢プロジェクトのマスコットキャラクターである「若武者丸（わかむしゃまる）」を地域で行われるイベント「TAKEO・世界一飛龍窯灯ろうまつり」や、「武雄市子ども会議」などに派遣し、学校の取り組みを紹介したり、被災地支援の協力を呼び掛けたりした。今後も、地域とのつながりを大事にしながら、被災地支援に対する思いをもち続け、貢献活動に取り組んでいきたい。



【ア の写真】



【イ の写真】



【ウ の写真①】



【ウ の写真②】

② 夢タイム（総合的な学習の時間）

全体テーマの「地域・社会貢献」を受け、各学年テーマの基に、いくつかのグループに分かれて課題を設定したり、課題毎にグループを編成したりして、それぞれの課題解決を図っていく。地域とのつながりを生かしながら、様々な人、もの、体験に出会うことで、社会貢献しようとする態度を養う。また、新たな発見をくり返しながら、自己の生き方や夢を考え、将来の夢実現に向け見通しを立てることをねらいとした。

ア 第1学年テーマ「地域・社会を知る」

地域の産業の「よさ」を知るために体験を通して、農業に携わる人から知識だけではなく、生き方・考え方も学び、他者と協同して農作物を育てたり、加工したりすることができるようにする。また、食に関心を持ち、地産地消の大切さや郷土料理についての知識を生かして、地域や社会に貢献したり、自分の将来について見つめたりすることができるようにする。

〈主な活動内容〉

- ❖ 農業体験活動（南高梅加工、サツマイモ、落花生など）
- ❖ 地域の産業（米、麦、豚、牛など）の調べ学習
- ❖ 調べ学習をもとにした地域をPRするクイズづくり、文化発表会での発表
- ❖ 地域の高齢者（老人会、長寿会）との交流、講話
- ❖ 職業調べ、発表会

イ 第2学年テーマ「地域・社会にふれる」

地域・社会で働いている人々とかかわりながら、自己の生き方や夢についての探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、他者と協同して問題を解決できることをねらいとした。また、自分の職業的将来を展望したり、よりよく生きようとしたり、社会に貢献しようとしたりすることができるようにする。

〈主な活動内容〉

- ❖ 職業講話
- ❖ 職場体験活動（事前学習、講話、振り返りなど）、文化発表会での発表
- ❖ 高校調べ（進路学習）
- ❖ 平和学習（沖縄修学旅行に向けて）

ウ 第3学年テーマ「地域・社会に貢献する」

地域・社会を支える人々とかかわりや探究する学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、他者と協同して問題を解決することをねらいとした。また、よりよい地域の創造を考えたり、主体的・日常的に社会貢献しようとしたり、自己の生き方や夢を見直すことができるようにする。

〈主な活動内容〉

- ❖ 地域貢献活動（「清掃活動」・「ものづくり」・「ふれあい」に貢献する活動。全8グループ）
- ❖ 小学生への読み語り（講習会、実践）



【ア の写真】



【イ の写真】



【ウ の写真①】



【ウ の写真②】

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(キャリア教育、福祉活動)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述 _____）	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

2010年から取り組んでいる「夢プロジェクト」を継続して、本校教育の柱として取り組んでいる。また、総合的な学習の時間（「夢タイム」）においては、「地域・社会貢献」という学校テーマを掲げ、年間指導計画の下、各学年、全職員で共通理解して取り組んでいる。

今年度からは、コミュニティスクールとして、地域とのつながりをより豊かなものにするため、学校行事に積極的に地域の方に参入していただいたり、各方面での広報活動を進めたりして、その方向性を見つめ直していきたい。その中で、ユネスコスクールとしての意義や価値を学校全体で考え、内容等の工夫改善を図っていきたい。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

まずは、教育課程や指導計画そのもの自体に無理が生じないように、今までやってきていること、できていることを、できる範囲で継続していくことが重要だと考えている。それぞれの担当者だけでなく、学校全体で一体となって取り組んでいける体制づくりを目指している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールに特化した評価は、学校内外ともに行っていないが、先に述べたように、コミュニティスクールとしての活動や学校行事等で地域や保護者の方からいただいた意見を集約して、今後の活動を見直す契機にしている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

ESDの学校における位置づけを明確にして、その効果をより確かなものにしていかなければならないと感じている。ESDに関する理解、方向性等を全ての職員や生徒が理解し、活動している現状ではない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

図られていない。現在の教育課程や活動内容の在り方を考えたときに、今後、その必要性について前向きに検討していきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

夢プロジェクト等で、2011年から被災地支援を行っている。夢ハンカチを集めたり、オリジナルソングを作ったりして、その都度、被災地の学校等とつながって活動を行ってきた。来年度以降も、ユネスコスクールのネットワークを最大限に生かし、持続可能な活動として継続していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校は人口の少ない町の、小規模校である。そんな中でも、生徒たちにとって、ユネスコスクールでの活動は、時には世界各国の現状等を知り、広い視野をもち、これからの人生や夢について、あるいは、社会貢献をしていく人材の育成にあたって、大変効果があるものだと感じている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

①「夢プロジェクト」における取り組みの強化

夢を見つけ、夢に向かって前進する生徒の育成を目指し、これまで取り組んできたプロジェクトの価値を見直し、さらに深化・発展させていくためのプログラムを組んで、取り組んでいきたい。具体的には講師の招へいや、被災地支援の活動に、更に地域や保護者の方と連携して、その活動を強化していきたい。

②「夢タイム」（総合的な学習の時間）の活動の精選

時間数が限られた中で、活動本来の目的や趣旨が失われないように、指導計画の策定の段階で、計画的、かつ、効果的に行われていくように、十分な検討が必要である。

③ユネスコスクール、ESDの理解

生徒、教員、保護者、地域の方々等、まだ認知が十分進んでいないのが現状である。学校の中で、どのようにして理解をすすめ、推進していくのか、学校や地域の実情に合わせて検討していくことが必要である。